

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 鳥取県立倉吉総合産業高等学校

重点項目	地域を支える専門人材育成	提出日	令和4年4月28日
------	--------------	-----	-----------

1 学校目標
将来職業人として地域で活躍し、地域に貢献できる人材を育成することを目標として、専門分野に関する学習や資格取得、部活動との両立、進路の実現等に日々努力する人材の育成を図る。また、地域との交流の中で、コミュニケーション能力や豊かな人間性の育成に努める。
2 重点項目に係る目標
<ul style="list-style-type: none">・一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成する。・専門教育を推進することで、技能を高め、地元企業に求められる人材を育成する。・各分野に優れた知識や技能をもつ社会人講師・大学教員を活用することにより、生徒の学習意欲の向上を図り、職業観、勤労観を育成する。・専門的な知識、技能、職見を有する地域の社会人を講師として招聘し、ショップ経営のノウハウを身に付けさせ、ビジネスに必要な業務を、効率的に行う能力を育成する。・インターンシップや・ビジネス実習をとおして職業や将来設計について考えさせ、主体的な職業選択能力や職業意識を育成するとともに、挨拶・言葉遣い・礼儀・マナーなどを学びコミュニケーション能力を高める。また、地元企業を見学し、進路選択における判断材料とする。・地域と連携した課題研究を実施し、地域との関わり合いを持ちながら、社会の変化に対応できる企画能力や実践能力を育成する。・地域の社会人講師を招聘し、全体に対する講話だけでなく、個々の資格取得における指導に携わってもらおう。単に技術指導だけでなく、生徒に「学び」への意欲を喚起させ、教職員が日常の授業で資格取得の大切さを教授することで、生徒の資格取得の実績をアップさせる。 <p><数値目標></p> <ul style="list-style-type: none">・年内就職内定 100% (R3…100% R2…100% R1…99%)・卒業1年後の離職率 8% 以下 (R3.3卒…8.8% R2.3卒…7.9% R1.3卒…9.5%)・資格取得 技能検定機械加工普通旋盤作業3級 10名程度 (R3…4名 R2…11名 R1…14名) 第1種電気工事士 15名以上 (R3…6名 R2…5名 R1…18名) 全商簿記実務検定1級 20名以上 (R3…15名 R2…16名 R1…12名) 家庭科技術検定1級3種目合格 10名以上 (R3…2名 R2…3名 R1…3名)・推薦・一般入学者選抜における各科の募集定員の充足。(以下は不足数) R4…電気 8 ビジネス 2 生活デザイン 3 R3…機械 5 電気 1 生活デザイン 3 R2…機械 5 電気 9 生活デザイン 4 R1…電気 2 ビジネス 3 生活デザイン 2

3 事業計画（事業名、事業概要）

【高等学校課事業】

●外部人材活用事業

- ・社会人講師活用事業（各科及び芸術科）

工業・調理・音楽などで優れた技能を持つ地域の人材を社会人講師として学校に招き、その技術や知識を学ぶ。

- ・県立高校・大学教員の教員交流事業（電気科）

鳥取大学工学部の教授等を講師に招き、大学で研究されている知見について学ぶ。

●キャリア塾

- ・進路講演会（各学年）

外部講師を招き、進学・就職に関する講演を行う。

- ・先輩に学ぶ

科ごとに社会で活躍する卒業生を招き、仕事に関する話やアドバイスを聞く。

【学校独自事業】

●進路指導充実事業

- ・資格取得の推進

資格取得関連の書籍や資格を生かした職業に関する書籍を図書館に整備し、広く生徒・教職員の学習に資する環境を整える。

●職業観・勤労観の育成事業

- ・インターンシップの推進（機械科・電気科・生活デザイン科）

2年生が3日間の職場体験を行い、進路目標をより明確なものにする。働くことのイメージを構築する。

- ・インターンシップの推進（ビジネス実習）の推進（ビジネス科）

2年生は夏・冬の2回の計10日間、1年生は冬に3日間の職場体験を行い、進路目標をより明確なものにするとともに、人間面での成長を図る。

- ・長期インターンシップの推進（電気科）

電気科2年生の希望者が、知識と技術の習得を目的とし、夏季休業中に約10日間の現場実習を行う。

- ・地元企業を知る企業見学

全科の生徒が、進路選択の幅を広げることを主たる目的とし、地元企業を見学し産業現場の具体的状況を知る。（R4年度は対象を全科に広げた。）

- ・地元企業のものづくり展示

図書館にものづくりに関する地元企業を紹介するスペースを作り、広く地域社会に目を向けさせ進路意識を啓発する。

- ・地元企業を知る企業招聘事業

複数の地元企業を本校に招聘し直接担当者に話を聞くことで地元企業の状況を知り、各企業が求める人材の把握に努め、進路選択に資する。

(様式1)

- ・ 県外企業研修

2年生の研修旅行で科ごとに企業を訪問し、地域産業と世界のつながりを理解する。

- ・ 安全教育

県労働基準協会から講師を招き、安全衛生管理について学ぶ。

- 地域との交流支援事業

- ・ チャレンジショップ「くらそうや」、「くらそうサロン」

ビジネス科3年生が「商品の仕入れ・販売」「地域住民との交流」等を行う。地域との交流を深めるとともに対応力を養う。

- 福祉活動支援事業

- ・ 電気の技術を生かした福祉活動

- (1) 高齢者との交流

高齢者とコミュニケーションを行いながら、現在における福祉についての問題点や改善点を把握する。意欲の向上につなげる。

- (2) 車いすの修繕

地域の方からの提供によって学科の枠を越えて車いすの修繕を行う。学校で学んだことを実践する。

- ・ 福祉施設体験活動の充実

高齢者施設、介護施設、保育園等の福祉施設との交流やレクリエーションをとおして正しい倫理観・道徳観などのものの見方考え方を知り、思いやりの精神や誠実で心豊かな人間性を育てる。

- スクールプロジェクト

- ・ 課題研究発表会の充実

各学科の発表会に大学教授や有識者を招聘し、指導助言を享受することで生徒の意識の向上と教員の指導力を高める。

- ・ 鳥取県中部の魅力発信

近年実用が進んだドローンの知識や操作技術を身につけ、進路選択の幅を広げる。

- ものづくり支援事業

- ・ マイコンカーの製作

全国大会を目指しながら、計画的に物事を進める力を身につける。

- ・ 普通旋盤作業における技能指導

技能士の指導を受けながら、技能検定3級の合格を目指す。

- ・ 電気工事についての技能指導

電業協会中部支部の指導を受けながら、ものづくりコンテスト県大会・中国大会での好成績を目指す。

※枚数任意